



# ときわ会の四季 春号

(No.56)

## 椿の大群落 (夏泊半島)



### 特集

- 椿の大群落 (夏泊半島) (写真)いちのへ 義孝 …… P 1
- 医療法人ときわ会 第44回 創立記念式 …… P 2
- 新任医師ご挨拶 外科 佐藤 新一 …… P 2
- 医療の今昔物語 —その30—(最終回) 永山 隆造 …… P 3
- ときわ会病院施設基準変更追加一覧 (平成30年4月1日以後) …… P 4



### 医療法人ときわ会の理念 ときわ (永遠) の愛

「ときわの愛」とは職員一人一人がそして法人全体が、利用者の求める心の安らぎと身体の健やかさを心から手伝えることです。

#### 理念実践のための3S (信頼・職員・施設)

#### 1 信頼の確立

- 1.1 各職員が利用者第一主義を徹底します。
- 1.2 自治体・関係施設・組織との連携を推進します。
- 1.3 地域住民の保健から緩和医療までの包括ケア体制の向上を目指します。

#### 2 職員の資質の向上

- 2.1 職員各人が心身の健康管理を徹底します。
- 2.2 情報開示 (説明・同意・応需・安全・守秘・非差別など) を推進します。
- 2.3 医療関連職員として職務遂行能力の向上を目指します。

#### 3 施設設備の高度充実化

- 3.1 職員各人が経営基盤の安定化を徹底します。
- 3.2 法人施設相互の連携を推進します。
- 3.3 施設特性を発揮する設備の向上を目指します。

### 患者様の「権利」と「ご協力」のお願い

ときわ会病院は安全な医療と快適な療養生活をお送り頂くために、患者様に以下の権利をお約束します。またご病気の一日も早い回復のために以下のご協力もよろしくお願い申し上げます。

#### 権利

- 1 病気や健康に対して十分な情報・説明・教育を受ける。
- 2 十分に説明された検査や治療方法を、自分で選び決める。
- 3 自分が納得する計画的チーム医療・看護・介護を公平に受ける。
- 4 自己の尊厳とプライバシーが守られる。
- 5 上記の権利を得られない場合は、病院などに苦情を申し立てる。

#### ご協力(義務)のお願い

- 1 病気を治すのは患者様ご自身の責任であり、ご自身の心と体の力です。病院の仕事は患者様自身が病気を治すことへのお手伝いであることをご理解ください。
- 2 一日でも早い心身のご回復を目指し、患者様ご自身も病院職員と共にチーム医療・看護・介護に参加する義務があることをご理解ください。

# 平成30年度 医療法人ときわ会 第44回 創立記念式



平成30年4月2日月曜日、午後2時から標記式典を開催しました。

この式典は毎年4月1日に行なわれておりますが、今年は曜日の都合で2日に行なうこととなりました。

理事長の挨拶で方針などが示されたあと、当法人の創設者である永山隆造先生と佐藤勗先生が退職されることになり、挨拶がありました。その後、10年、20年、30年勤続者表彰、新人紹介が行なわれ、その後法人内の情報共有として平成30年度研究活動報告会が行なわれました。

その後会食を行い、16時50分閉会となりました。  
(研究活動報告につきましては次号以降でご紹介いたします)



## 平成29年度研究活動報告会

座長 相馬 大佑  
演題

リハビリテーション・自主トレーニング活動の取り組みについて  
明生園通所リハビリテーション 澤田 久寿  
酸化マグネシウムによる高マグネシウム血症  
ときわ会病院 薬局 遠藤 能子  
もっと知ろう 回復期リハビリテーション病棟  
3病棟 工藤 孝子

## 新任医師ご挨拶



外科  
佐藤 新一先生

はじめまして、今年四月から毎週月曜と木曜に藤崎診療所の外科外来を担当いたします佐藤新一と申します。これまで町立大鰐病院に10年間勤めておりましたが、定年となりこちらにお世話になることとなりました。よろしくお願い致します。

実は、大鰐に勤める前に藤崎病院で平成11年から平成20年の10年間働いておりました。院内は大分変わりましたが、懐かしい感じが致します。

得意な分野は特にありませんが、外科一般や腰痛、膝痛など整形外科分野も関節注射含め対処できます。ご利用ください。

趣味は園芸で、花や木、野菜など土いじりが好きです。また、飛行機などの模型も作っています。退職後は時間に余裕ができますので、今から楽しみにしています。

これから長いお付き合いになると思います。宜しくお願い致します。

# 医療の今昔物語 — その30 — (最終回)

皆さまお元気でしょうか？今年も桜の季節が来ました。梅・桜・椿・水仙・・・春爛漫の津軽の自然は活気に満ち溢れています

今回でこの話も30回になりました。「医療の今昔物語」と名前を付けたのは、私の子供時代と現代の病気の相異点と、漢方医学と現代医学の主流である西洋医学との相異点には共通点があることを皆さまに知って頂き、現代医学一辺倒の考え方に疑問を持ち健康に対して正しい考えを持っていただきたいと思ったからでした。

津軽の自然は四季を通じて美しく健康的ですが、毎年発表される全国の平均寿命では青森県が最下位であることは皆さまもご存知のことと思います。

ネットで青森県の全国一位を調べてみると、食塩・インスタントラーメン・炭酸飲料・豚肉の消費量・男性の喫煙率・小中学生の肥満率などが全国一位となっています。これらの悪い積み重ねが青森県民を短命にしているのかもしれない。

津軽に限らず全国的なことですが毎年、秋から冬にかけてインフルエンザが大流行し、春には多くの人々が花粉症に悩まされ、夏には小中学校の集団の熱中症などがテレビを賑わせます。昭和10年、今から80余年前に生まれた私たちの小・中学校の時代にはカゼによる学級の閉鎖や学童の熱中症などは無かったので、このような病気が多いのは生活環境の変化による現代病と私は考えています。

例えば一年を通しての冷房暖房の普及や、皮膚癌になるからと日焼け止めクリームを塗るなどの流行は、皮膚や体内に抵抗力を高める物質を作る働きも低下させました。長い距離を歩く遠足は、忍耐力と体の鍛錬に役立ちましたが今はバス遠足に変わりました。さらに食生活は悪化し、テレビゲームなどが加わった現代の生活環境は人間を水耕栽培の野菜の様に軟弱にしまい、人体が自然に持っていた外界から受ける悪い刺激に対する抵抗力や免疫能を失わせているのです。

次に西洋医学と漢方医学の健康に対する考え方の相異点を考えてみましょう。

西洋医学は2000年に及ぶキリスト教に裏打ちされた医学です。キリスト教の自然に対する考え方は、旧約聖書創世記に人間に対して、「子孫を繁殖させよ、そして大地を満たせ。大地を征服せよ。海中の魚、空飛ぶ鳥、地上を這うすべての生き物を所有し支配せよ。種を結ぶ一切の植物、実のなる一切の木を食物として、人間に与える」とあるのです。

要するに西洋医学の基本は「人間が自然を支配する」という考えなのです。

これに対し2000年前頃に完成した漢方医学書には「四季の移り変わり、太陽や月の巡りと共に生きよ。四季折々に自然が与えてくれる動植物をたべよ。それに逆らうと病になる」と書いてあります。要するに漢方医学の基本は「人間は自然と共にいきよ」という考えなのです。

西洋文明は快適な冷暖房を与えてくれたので命も伸びたはずですが、一方抵抗力を失い、以前には無かった病気を流行らせる結果になっているのです。漢方医学で言う自然と共に生きるのは衣食住すべてにかかわることです。私は現在の衣食住すなわち生活環境をもう一度見直すことが短命県の返上につながると思うのです。

短命県を返上するには、40～50代の人々が自分の生活を改め、子供たちの衣食住の生活環境を正しくしてあげることが必要です。そして幼児・小中学生・高校生までに体の仕組みや働きなどを教えて、健康であるためには何が必要なのかを十分に理解した青年や成人になってもらう必要があるのです。ですから短命県の返上には今から30年は必要だろうと思います。

医療法人ときわ会が旧常盤村に昭和49年に病院を始めてから44年になりました。平成28年の日本の平均寿命は男性が約81才で、私は今年7月で満83歳になります。私は6月で医療法人ときわ会の理事を辞めることにして、ごく一部を除き3月31日ですでに診療を辞めました。

多くの方々の「面白く読んでいるよ」という声に励まされながら続けた「医療の今昔物語」もこれで最後になりました。皆様の健康や健康観に少しでもお役に立てば幸いです。長い間お付き合いいただき有難うございました。

当院の漢方外来は日本東洋医学会認定の漢方専門医が担当しています。

## ◎ときわ会病院

水曜日午後・金曜日午前 担当医 永山 隆造  
木曜日・午前と午後 担当医 小倉絵理子

## ◎藤崎診療所

土曜日午前中 担当医 永山 隆造



医療法人ときわ会理事  
日本東洋医学会認定  
漢方専門医・指導医

永山 隆造

# ときわ会病院 施設基準変更追加一覧 (平成30年4月1日以後)

## 施設基準

急性期一般入院基本料 5 (1病棟39床)

重症度、医療・看護必要度 I 21%以上 (平均在院日数21日以内)

地域包括ケア病棟入院料 1 (2病棟44床) 看護職員配置加算 50:1

看護補助者配置加算 25:1

回復期リハビリテーション病棟入院料 4 (3病棟) (42床)

回復期リハビリテーション病棟入院料 4

緩和ケア病棟 1 (5病棟) (24床) 看護配置 7:1 (看護師)

## 基本診療料の施設基準の届出

機能強化加算(80点/初診)

外来・1病棟

後発医薬品使用体制加算 4 (22点/入院初日)

1病棟

## 特掲診療料の施設基準の届出

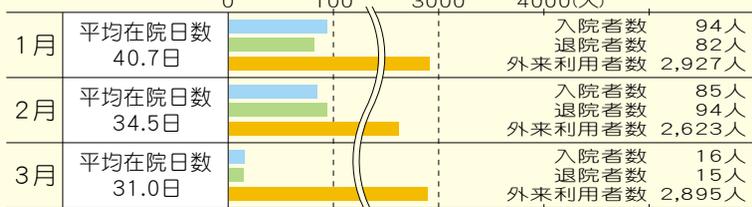
救急搬送看護体制加算(200点/初診料算定時)

療養・就労両立支援指導料の注2 相談体制充実加算(1500点/6ヶ月1回) 1病棟・外来

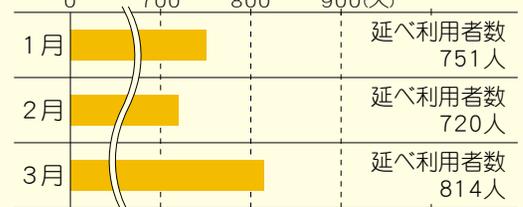
## 医療法人ときわ会病院 各施設の利用状況

### ときわ会病院 利用者数

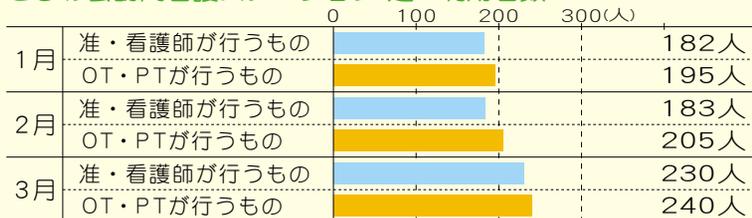
※平均在院日数は一般・回復期リハビリ病棟・療養病棟全てを含んだ日数です。



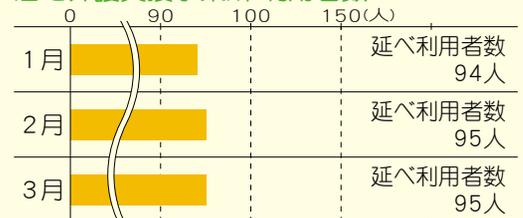
### 通所リハビリテーション 利用者数



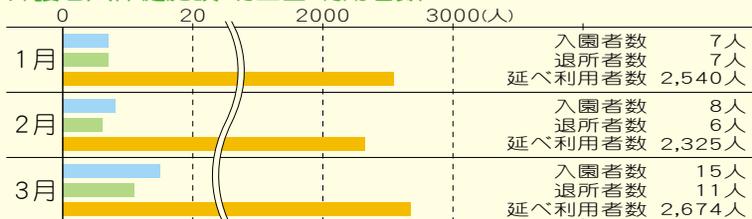
### ときわ会訪問看護ステーション 延べ利用者数



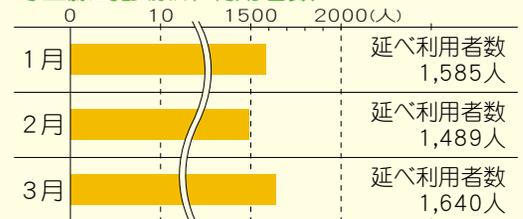
### 居宅介護支援事業所 利用者数



### 介護老人保健施設 明生園 利用者数



### 町立藤崎診療所 利用者数



## 編集後記



白鳥も北へ帰り、いよいよ春の息吹が満ちてきました。そんな中、当病院の創設者であり、私が大学病院勤務のころからお世話になってきたお二方、永山隆造先生と佐藤勲先生が退職されることになりました。長い間本当にありがとうございました。医療の今昔物語も最終回となってしまいました。私の学んできたアーユルヴェーダ医学も東洋医学と根っこの部分でつながっています。その精神を絶やさないようにしていきたいと思ひます。  
峯岸 晶子